

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2022年4月号

# 森のおくりもの 4

NO.367 The Gift from Woods

シータテハ（タテハチョウ科）



晴れた日に散策路を巡回していたら、シータテハという冬越ししていた蝶が、暖かな春を感じて目覚め日向ぼっこをしている所に出くわしました。自然界では至る所で冬から春に変わっていますが、昨年7月より太白山自然観察センターの館長を務めてきた私は、この3月末で退任いたしました。9ヶ月という短い間でしたが、大変お世話になりました。4月からは一人の仙台市民として四季折々の観察の森を楽しませていただきたいと思います。ありがとうございました。

【写真と文：前館長 川上正博】

# 森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

## 『No pain, no gain』（苦勞なくして得るものなし）

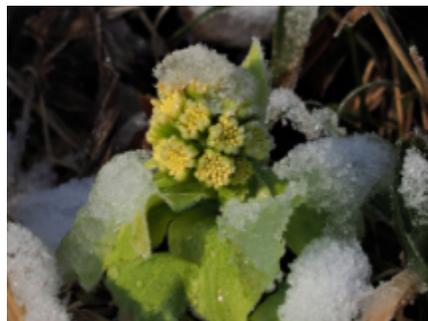
3月も半ばを過ぎてようやく暖かくなってきたと思ったら、寒の戻りで雪が降るほど冷え込みました。昨年末から厳しい寒さが続いた今シーズンの冬は、気温も積雪量も平年並みだったということですが、近年は暖冬傾向で仙台のソメイヨシノの標本木が3月31日には満開となってしまった昨年と比べたら、寒さが長くて辛かった気がします。

便利で快適に暮らしている人間でも冬の寒さを過ごすのは辛いものだから、自然界の生きものにとっては尚更大変なことだろうと想像します。春になって、穏やかな陽気で鳥がさえずる中、花が咲き、蝶が舞う光景を見ると、無事に厳しい冬を乗り越えられたことを喜んでるように感じます。アメリカの詩人のアン・ブラッドストリートが「もし冬がなかったら、春の訪れはそんなに喜ばれないだろう。もし私たちが時々逆境を乗り越えなければ、成功もそれほど嬉しく感じないだろう。」と語っています。

『No pain, no gain.』という英語のことわざがあります。「苦勞なくして得るものなし」と訳され、「苦勞してこそ大切なものが手に入れられ、成功を得ることができる」という意味です。つい、楽をしてうまくいく方法を考えてしまいがちですが、苦勞もせずに簡単に成功しようなんて甘いという教訓で、アン・ブラッドストリートの名言に通じると思いました。

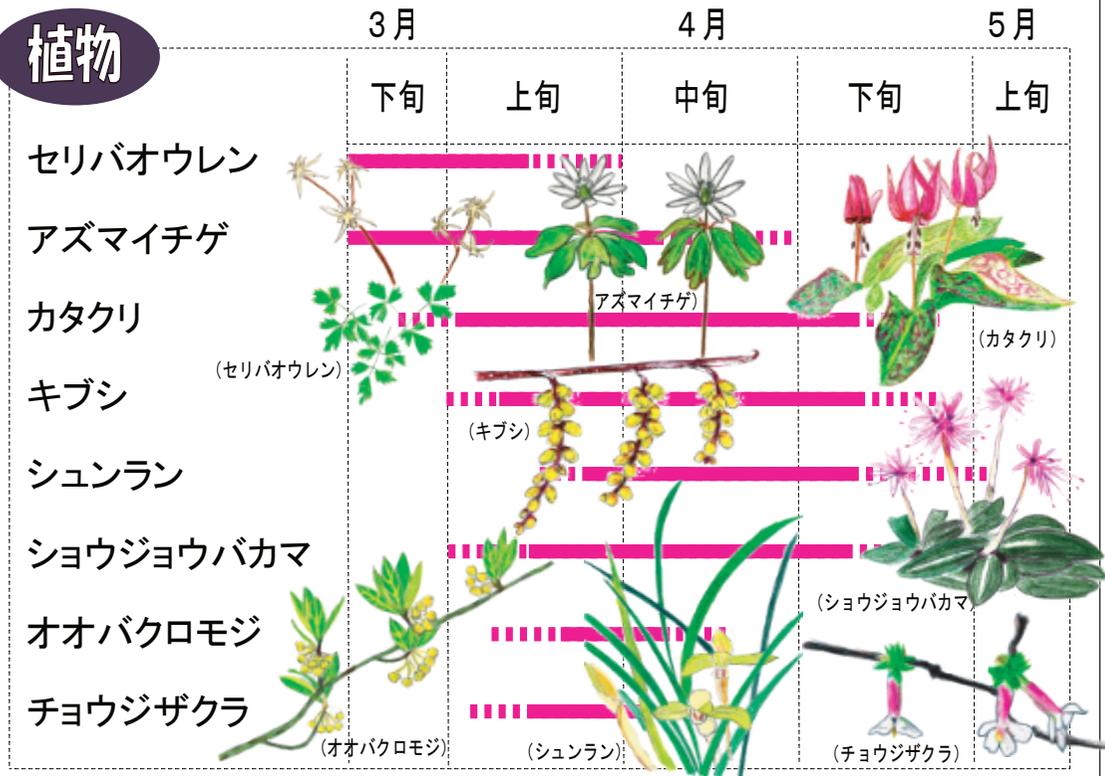
人生において、楽しいことばかりでなく辛い出来事がたくさんあります。最近は様々な問題で先行きが不安な世の中ですが、“苦勞なくして得るものなし”で、辛い経験をしてでも人生をより楽しくさせるスパイスだと思えば、氣楽に乗り越えられるかもしれません。

【レンジャー：新田隆一】



# 4月の生物ごよみ

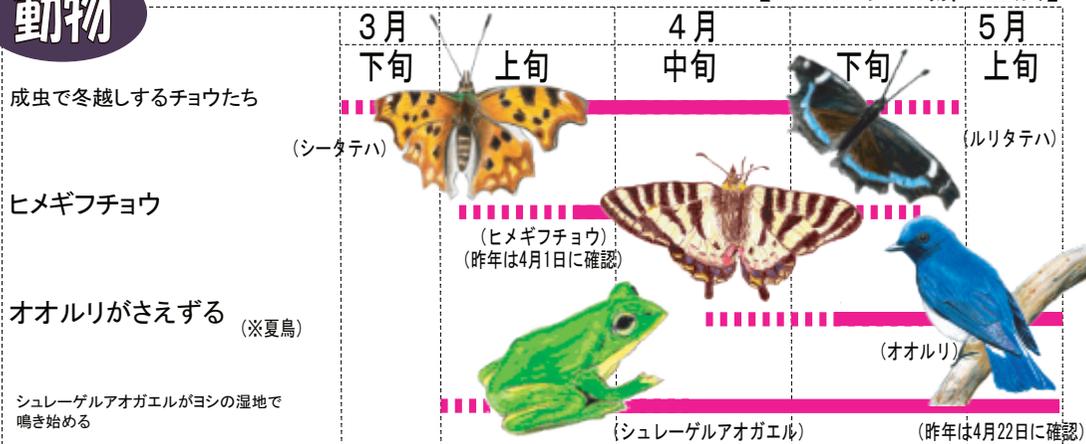
## 植物



今年のカタクリの開花は3月25日に蝶の野原で確認されました。毎年3月から5月にかけて、植物の開花ラッシュに入ります。昨年記録ですが、3月だけで58種、4月に107種、5月には82種の開花が確認されています。今年は昨年と比べ植物の開花時期が10日ほど遅れているので、4月上旬ごろにたくさんの開花が予想されます。このよい季節、観察の森に是非お越しく下さい。

【レンジャー：齋 正宏】

## 動物



※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

# 森の「あれこれ」



## 「アズマイチゲとキクザキイチゲ」



3月に入り暖かい日が続くと「スプリング・エフェメラル」と呼ばれる春先の短い時期に咲く花たちに出逢えます。その仲間のひとつ、いやふたつ。上の写真左がアズマイチゲ、右がキクザキイチゲです。え～そっくりじゃん、と見えて困ります。花びらの形も色もそっくり…、いえいえ、実はこの仲間、花びらが無く、花びらに見えるのは萼片(がくへん)と呼ばれる器官なんだから。なので葉のギザギザが、浅く切れ込んでいるのがアズマイチゲ、深く複雑に切れ込んでいるのがキクザキイチゲ、とガイドで解説するものの、時々迷います。



あと、アズマイチゲは花の基部が黒っぽい個体があり（左の写真）、キクザキイチゲには花びら…に見える萼片が、淡紫青色の個体もあります（右の写真）。二つの花の見分けもさまざまで、一筋縄では行かないようです。

【レンジャー：木田秀幸】

# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

カモシカは4月から6月に仔が生まれることが多く、これからの季節は子連れの姿が目撃できるかもしれません。角を木にこすりつけている(写真①)様子を見ていたら、気配に気づいたのかこちらをじっと見つめてきました(写真②)。目の下に2つの分泌腺があり四つ目に見えます。足には2本の蹄が見えます(写真赤丸)。朝や夕方に現れることが多く、葉や花、実などを食べる姿もよく見かけます。写真③はモミジイチゴの葉、④はカタクリの花、⑤はヤマウルシの葉、⑥はヤマグワの実を食べていました。ヤマウルシの葉なんて人間では考えられませんかよねえ。口の中は大丈夫なのでしょう。・・・(^\_^)

【レンジャー：菅原幸彦】



# 4月のイベント & お知らせ



## イベント

新型コロナウイルス感染拡大や天候の急変等でイベントについても変更となる場合がありますので、観察の森のブログ等でご確認お願い致します。

参加の際、新型コロナウイルス感染対策のため同意書の記入をお願いしています。

### ◆「おはよう野鳥かんさつ」

【日 時】4月16日(土)6:30~8:00

【定 員】15名(先着) 中学生以下は保護者同伴

【持ち物】飲み物、雨具、帽子、暖かく歩きやすい服装と靴、(あれば)双眼鏡

【申込み】4月6日(水)午前9時より電話受付

### ◆「太白山の春をたずねて」

3月16日の地震による登山道の一部崩壊により、安全を考慮し、中止といたします。

### ◆「はじめてバードウォッチング」

【日 時】4月29日(祝)10:00~11:30

【定 員】15名(先着) 小学生以上、中学生以下は保護者同伴

【持ち物】飲み物、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴、(あれば)双眼鏡

【申込み】4月7日(木)午前9時より電話受付

### ◆「初心者が楽しめる新緑の森散策」

【日 時】5月7日(土)10:00~11:30

【定 員】10名(先着) 小学生以上、中学生以下は保護者同伴

【持ち物】飲み物、帽子、雨具、歩きやすい服装と靴

【申込み】4月8日(金)午前9時より電話受付

## ガイドウォーク

毎週日曜日開催  
申込み不要、どなたでも参加できます。

開催日: **3日, 10日, 17日, 24日**

時 間: **10:00~11:30, 13:30~15:00**

(4月より午前と午後の2回開催)

## 休 館 日



**4日, 11日, 18日, 25日**

毎週月曜日休館、月曜日が  
祝祭日の場合は火曜日休館

## 観察の森へのアクセス



### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」

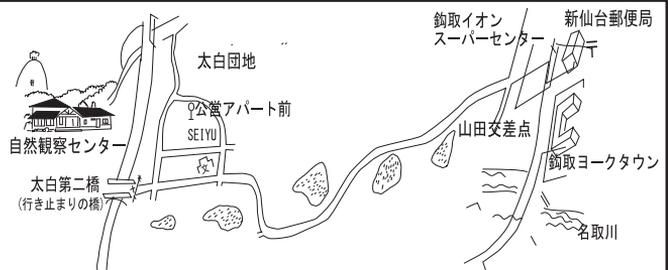
※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」

いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。  
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター